

MODE MASTER
SCHOOL

パチスロ基礎知識②

～パチスロタイプ解説～

Mode IN
株式会社メイドインサービス

○パチスロタイプ解説①

・Aタイプ

BIG中のJACゲームが3回あるタイプの機種で、パチスロの中でもボーナスで出玉を増やすシンプルなタイプ。4号機時代の名残で、5号機以降もボーナスでメダルを出玉を増やすタイプを総称してAタイプと呼ぶことが多い。ノーマルタイプとも言う。（ニューパルサー等）

・Bタイプ

BIG中のJACゲームが2回しかないタイプ。1回のBIGボーナスで得られる獲得枚数は少ないが、連荘性のあるパチスロ台に多いタイプ。（4号機の巨人の星シリーズ等）

・Cタイプ

BIGボーナスが無いタイプ。ATや、REGに連荘性があるタイプ。
(4号機の北斗の拳、スーパービンゴ等)

・RT

正式名称は「リプレイタイム」。リプレイ確率が大幅にアップし、コインが微増していくか、もしくは現状維持でプレイできる状態。

・ART

正式名称は「アシストリプレイタイム」。AT機能に加え、リプレイ確率が大幅にアップしている状態。2008年以降の5号機で、このART機能を搭載した機種が多く登場している。
ボーナスではなく、主にART機能で出玉を増やしていく機種のことを「ART機」と呼ぶ。

・AT

正式名称は「アシストタイム」。通常ゲーム時、超高確率で小役が成立しているにも関わらず、押し順や狙う絵柄がわからなければ揃えることのできない機種において、液晶やドットなどで押し順や狙うべき絵柄をナビしてくれる機能。この機能により、一撃性の非常に高い機種が市場に多く出回った。（代表機種は4号機の獣王・ミリオンゴッド等）

○パチスロタイプ解説②

・CT

特定役後、いずれかのリールを無制御（＝停止ボタンを押したリール位置で直ちに止まること）にすることにより、目押しで自由に小役を揃えられる状態（ただしリプレイとボーナスを除く）。原則Bタイプの機種に搭載でき、規定差枚数到達か規定プレイ数で終了するものがほとんどであった。5号機では規定変更により特定図柄を揃えることで発動するボーナスの扱い（正確には、「第二種特別役物（チャレンジボーナス）に係る役物連続作動装置」である）となっており、1コマまでのスペリが可能など、4号機のCTとは性質が大きく異なる。

・ノーマルタイプ

基本、ボーナスのみで出玉を増やしていくタイプで、4号機時代の名残からAタイプと呼ばれる場合も多い。5号機になってからは、疑似ボーナス（厳密にはAT）搭載機も登場したが、ノーマルタイプは純ボーナス（リアルボーナス）搭載機の事を言う。

・大量獲得機

パチスロ機（4号機）の中でも、一回のビッグボーナスにおいて概ね500枚以上の獲得枚数が得られる機種を指す。4号機の大量獲得機では、規定枚数いっぱいの最大711枚の獲得が可能で、当時のユーザーからも熱狂的な支持を得た。代表機種は大花火など。

・タイプY

山佐から発売された『ナイス』にのみ採用されているタイプで、ボーナスゲームが1回のみの物。タイプYとは山佐のYからの造語であり同社の呼称である。厳密には、規定上ではBタイプに分類される。

・タイプF

JPSから発売された『2027』シリーズは「ボーナス成立後も敢えてボーナスを入賞させない」「ARTを中心に出玉を増やす」などと言った特殊なゲーム性を持つ機種を「TYPE-F」と自称していた。